

再評価結果（令和5年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局 国道・技術課

担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道47号 <small>しんじょうふるくち</small> 新庄古口道路	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 東北地方整備局
起終点	自： <small>やまがた しんじょう もとあいかい</small> 山形県新庄市大字本合海 至： <small>やまがた もがみ とざわ ふるくち</small> 山形県最上郡戸沢村大字古口	延長	10.6km		
事業概要	<p>新庄酒田道路は、新庄市から酒田市に至る高規格道路である。 新庄古口道路は、新庄酒田道路の一部を構成し、新庄市大字本合海から最上郡戸沢村大字古口に至る延長約10.6kmの自動車専用道路である。</p>				
H13年度事業化	— 都市計画決定	H19年度用地着手	H20年度工事着手		
全体事業費	約570億円	事業進捗率 <small>(令和4年3月末時点)</small>	約67%	供用済延長	4.6km(暫定)
地域の防災面の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・現道の国道47号では事前通行規制区間が1区間（連続雨量150mm）、特殊通行規制区間が1区間（河川氾濫が予想される場合）存在。また自然災害等による全面通行止めは、過去30年間で70回発生。 ・周辺に代替路線がなく、災害等による通行止めが発生した場合、迂回に要する距離は通常期の約3倍を要する。 ・このため、戸沢村の日常生活を営む上で重大な障害及び不安要素となっており、地元自治体等からも改善の要望も出されているなど、地域の喫緊の課題となっている。 				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ① 災害等による迂回解消を含めた走行時間の短縮等 <ul style="list-style-type: none"> ・新庄市から酒田港（現況80分⇒整備後76分）へのアクセス向上が見込まれる。 ② 災害への備え <ul style="list-style-type: none"> ・現道等の防災点検要対策1箇所が解消される。 ③ 高次救急医療施設へのアクセス性向上 <ul style="list-style-type: none"> ・新庄市から日本海総合病院（現況68分⇒整備後64分）へのアクセス向上が見込まれる。 		費用	(残事業)/ (事業全体)	
			211 / 730億円 (事業費：138/636億円) 維持管理費：73/94億円		
関係する地方公共団体等の意見	<p>○山形県知事の意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 「対応方針（原案）」案のとおり「継続」で異議ありません。 2 新庄古口道路は、高規格道路「新庄酒田道路」の一部を構成する自動車専用道路で、国道47号の新庄市内の交通混雑の緩和、新庄市、戸沢村の事前通行規制区間の代替路線の確保等が図られる極めて重要な路線です。 このため、本県では、「第4次山形県総合発展計画」や「山形県道路中期計画2028」において“高速道路・地域高規格道路の整備”の重要性を盛り込んでいるところであります。また、令和3年7月策定の「新広域道路交通計画」において、本路線は広域道路ネットワークの“高規格道路”に位置付けております。 引き続き、コスト縮減にも十分に配慮しながら、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく別枠の財源を確保するとともに、本事業にも充当するなどし、早期完成に向け、事業の推進をしていただくようお願いします。 <p>○以下の団体等から新庄古口道路の整備促進について要望あり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道47号・新庄酒田地域高規格道路整備促進期成同盟会 ・最上開発協議会 ・山形地区国道協議会 ・山形県商工会議所連合会 ・山形県市議会議長会、山形県町村議会議長会 				

事業評価監視委員会の意見

・対応方針（原案）の事業継続は妥当である。

事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等

・この事業の目的が失われるような道路交通状況の変化及び関連プロジェクト等の変更はない。

事業の進捗状況、残事業の内容等

・平成13年度新規事業化、用地進捗率100%、事業進捗率約67%（令和4年3月末時点）

事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等

・事業の進捗に係る問題はない。

施設の構造や工法の変更等

・トンネル内ラジオ受信装置計画の見直しを行い、コスト縮減を図っている。

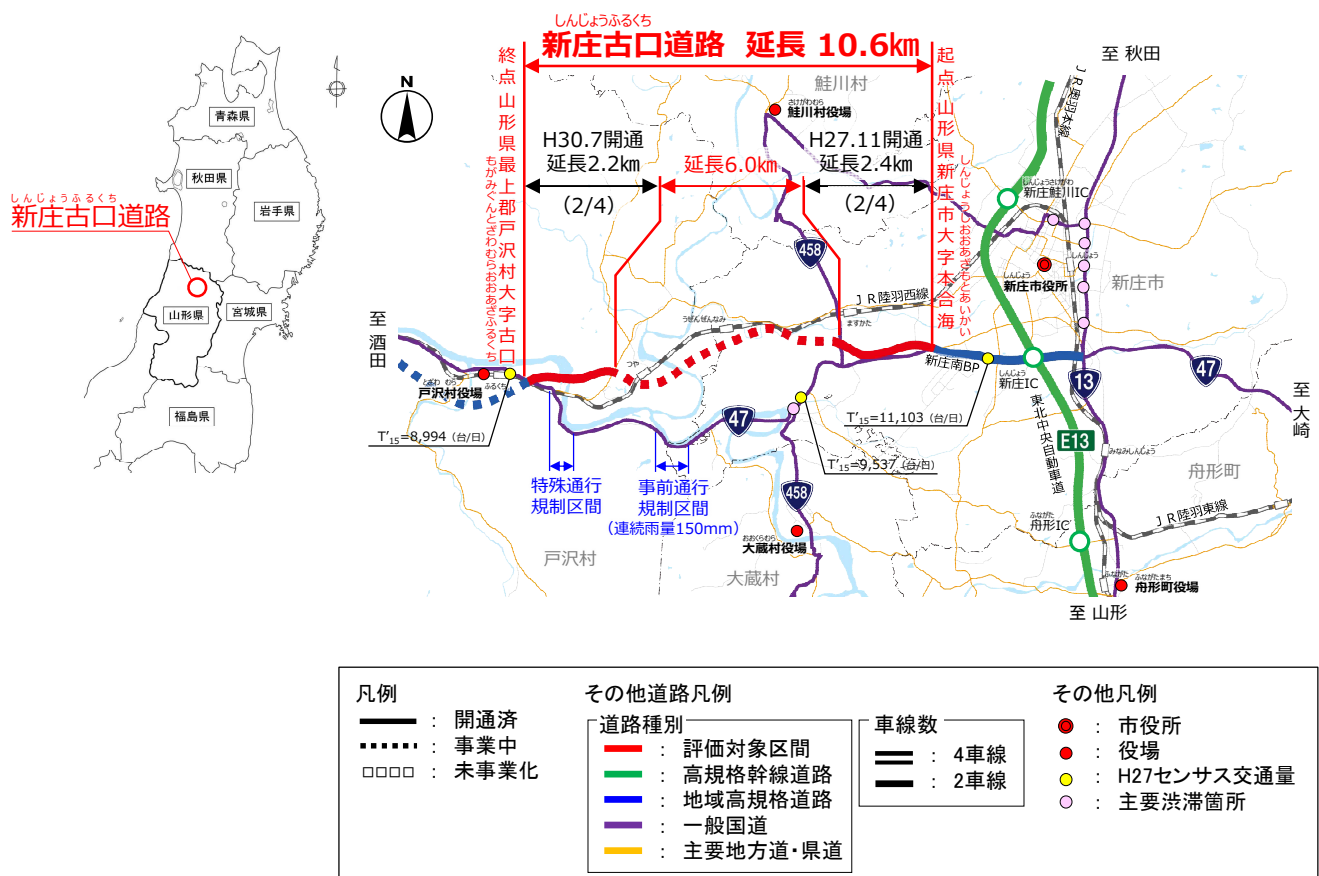
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

最上地域と庄内地域の連携の強化を図るとともに、災害発生時の信頼性向上、搬送時間の短縮による重篤患者の救命率の向上、冬期の走行性・速達性の確保等のため、早期整備の必要性が高い。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。